

### 第3学年2組 音楽科学習指導案

日 時 平成30年11月22日（木）

場 所 島根県民会館 大会議室

指導者 松江市立第二中学校 教諭 北澤 律子

#### 1 題材名 郷土の伝統音楽の魅力を味わおう ～“佐陀神能”の音楽の変化を感じて～

#### 2 題材の目標

郷土の伝統芸能をその背景となる文化・歴史を理解し音楽の特徴に着目して視聴する活動を通して、身近な地域にある音楽文化に親しんでいく態度を養う。

#### 3 題材設定の理由

##### (1) 題材について

第3学年では、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して鑑賞する能力を高めることが求められている。また、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴を理解して鑑賞する能力を高めることもねらいとしている。授業では、松江市鹿島町の佐太神社に伝わる神話に基づいた能形式の神楽“佐陀神能”を取り上げる。“佐陀神能”は、平成23年にユネスコの世界無形文化遺産に登録された松江市の誇る文化である。しかし、同じ市内にある素晴らしい伝統文化であるにもかかわらず、生徒には認知度が低く、生徒が“佐陀神能”に触れる機会はほとんどない。そこで、本題材では、その歴史や継承された背景を理解するだけでなく、和楽器の音色に親しめるように表現活動を行い、神話や舞と音楽の特徴とのかかわりに着目しながら鑑賞する。このような活動を通して、郷土の伝統音楽がより身近なものとなると考え、本題材を設定した。

##### (2) 生徒について

<個人情報保護のため省略>

##### (3) 指導にあたって

授業では、まず、“佐陀神能”のにぎやかな囃子である成就神楽（神楽を神様に無事奉納したことを喜んで、神楽の最後に演奏する囃子）を鑑賞し、明るくリズムに乗りやすい音楽を切り口とし、楽器の音色の特徴を、楽器の演奏体験を通して感じ取るようにする。次に、“佐陀神能”の歴史に触れながら、高校生や20歳代の若者も男女を問わず演奏していることを伝え、文化的価値と親近感が感じられるようにする。第二時では、「八重垣」で表現している内容を理解した上で、音楽の特徴と物語や舞とのかかわりに注目していく。囃子方の音色に親しみながら、リズムの反復や速度・強弱の変化が佐陀神能の音楽の特徴であることをとらえていけるようにする。そして、音楽の特徴と物語や舞とがかかわりあって、表現が豊かになっていることが神能の魅力となっていることを、異なる2つの場面を鑑賞することで感じ取らせたい。感受を高めるための表現活動、班での話し合い活動、話し合った内容の発表などを通して、誰もがより幅広く神能に親しめるようにしたい。

4 学習指導要領とのかかわり

(1) 本題材で指導する事項 B鑑賞(1)ウ

(2) 取り扱う主な音楽を形づくっている要素 速度 強弱 リズム 音色

5 教材 佐陀神能「八重垣」(佐陀神能保存会による伝承)

DVD「佐太神社御座替祭と佐陀神能 記録編4」(古代出雲歴史博物館)

6 評価規準

(1) 領域・分野と評価の観点との関連

	ア) 音楽への 関心・意欲・態度	イ) 音楽表現の 創意工夫	ウ) 音楽表現の技能	エ) 鑑賞の能力
A・歌唱				
A・器楽				
A・創作				
B・鑑賞	○			○

(2) 題材の評価規準

ア) 音楽への関心・意欲・態度	エ) 鑑賞の能力
① “佐陀神能「八重垣」”の背景、内容や使われている楽器の音色に関心を持ち、“佐陀神能”の音楽の雰囲気味わおうとしている。	② 物語や舞とかかわって、リズムが反復したり、速度や強弱が変化したりすることに気付いている。 ③ “佐陀神能”の背景となる文化・歴史や、物語や舞の様子と音楽の関係から感じたことを生かして、紹介文を書いている。

7 指導と評価の計画(全3時間)

時	主な学習活動(○ねらい・学習活動)	教材	評価規準と評価の方法
1	<p>○佐陀神能の継承されている背景や表現されている内容を知り、使用されている楽器の特徴に関心を持つことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「成就神楽」を聴いて、神能の雰囲気を感じる。</li> <li>・銅拍子・締太鼓・長銅太鼓・笛等の体験を通して、楽器の音色や演奏の仕方を知り、音色やリズムが生み出す雰囲気を感じ取る。</li> <li>・佐陀神能の歴史や継承された背景を知る。</li> <li>・佐陀神能「八重垣」の登場人物やスサノオノミコトがヤマタノオロチを退治するという神話がもとになっていることを知る。</li> </ul>	<p>「成就神楽」 ワークシート 笛 締太鼓 銅拍子 長銅太鼓 小鼓 大鼓</p>	<p>ア① ワークシート 体験活動の様子 子の観察</p>
2 (本時)	<p>○佐陀神能「八重垣」の2つの場面を鑑賞し、リズムの反復と速度や強弱などの変化が、物語や舞とかかかわっていることを感じ取ることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銅拍子と締太鼓に注目して、『オロチが現れる場面』を鑑賞し、演奏体験を通してリズムをとらえる。</li> <li>・『オロチが酒を飲んで寝てしまう場面』を視聴し、音楽の変化に気づき、音楽の変化と物語や舞とのかかわりを話し合う。</li> <li>・『オロチが現れてから寝てしまうまでの場面』を通して鑑賞し、神能の表現の豊かさを感じとる。</li> </ul>	<p>衣装、面など 神楽用具一式 「八重垣『オロチが現れる場面～寝てしまう場面』 締太鼓 銅拍子 ワークシート</p>	<p>エ① ワークシート 発言の聴取</p>
3	<p>○佐陀神能「八重垣」を、音楽と物語や舞とのかかわりに注目して鑑賞し、その内容や魅力を紹介できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「八重垣」を通して鑑賞し、佐陀神能の音楽の魅力を紹介する文を書く。</li> </ul>	<p>佐陀神能保存会による 実際の演奏</p>	<p>エ② 紹介文</p>

8 本時の学習（本時2/3）

(1) ねらい 佐陀神能「八重垣」の2つの場面を鑑賞し、リズムの反復と強弱や速度などの変化が物語や舞とかかわっていることを感じとることができるようにする。

(2) 展開

学習活動	教師の支援	評価規準と評価の方法
<p>1 佐陀神能の歴史や演奏場所、楽器、「八重垣」の神話の内容を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートや展示物から神話の内容や登場人物、楽器を確認する。</li> </ul> <p>2 今日のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐太神社本殿や舞殿を画面に映して、神能の厳かな雰囲気を作る。</li> <li>佐陀神能に興味をもてるように、面や衣装の説明をする。</li> <li>世界無形文化遺産であることとその価値がわかるように説明する。</li> <li>めあての提示</li> </ul>	
<p>物語の進行と音楽の変化とがかかわりあって、どのような雰囲気が生まれるのかを探ろう。</p>		
<p>3 ♡ 銅拍子と締太鼓の演奏に注目して、『オロチが現れる場面』を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>銅拍子と締太鼓のリズムに注目して映像を見る。</li> <li>リズムを擬音で言ったり、映像に合わせてリズム打ちをしたりする。</li> <li>銅拍子や締太鼓で演奏してみて、一定のリズムが変化せず、何度も繰り返されていることを理解する。</li> <li>締太鼓は、一定のリズムに即興的アクセントや強弱の変化が加わっていることを感じとる。</li> </ul> <p>4 ☆ 『オロチが酒を飲んで寝てしまう場面』を視聴し、音楽にどのような変化があったか、音楽が変化すると物語の雰囲気はどうか、ワークシートに記入し、班で記入したことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物語の流れとオロチの気持ちを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に擬音を言う。 シャーカーシャーカー…、タンタタンタ…</li> <li>銅拍子の動作や、締太鼓の動作を見せながら、一緒にリズム打ちをする。</li> <li>アクセントがついている部分の映像を見せながら、全体で共有できるようにする。</li> <li>物語の流れを表したものを提示する。</li> <li>オロチの気持ちを想像し、全体で共有できるようにする。</li> </ul>	<p>エ)① ワークシート 発言の聴取</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の変化に気を付けて鑑賞し、全体で共有する。</li> <li>・音楽が変化することで、物語の雰囲気はどうなったかに気を付けて鑑賞し、感じたことを書いて、班で話し合う。</li> </ul> <p>5 班で話し合った内容を発表し、音楽の変化について気づいたことと、音楽の変化に伴う物語の雰囲気について感じたことをクラスで共有する。</p> <p>6 発表しあった内容に気をつけながら、『オロチが現れてから寝てしまう場面』を通して鑑賞する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『オロチが酒を飲んで寝てしまう場面』を再生するときには、映像に合わせて、物語の流れのどこを演奏しているかを指し示す。</li> <li>・必要に応じて『オロチが酒を飲んで寝てしまう場面』を再生する。</li> </ul> <p>・発表した内容を音楽の要素ごとに整理して示す。</p> <p>・通して視聴したことで新たに気づいたり感じたりしたことを、発表により共有できるようにする。</p>	
--	--	--

(3) 予想される生徒の具体的な姿

評価の観点 エ①【鑑賞の能力】 物語や舞の様子とかかわって、リズムが反復したり速度や強弱などが変化したりすることに気付いている。

<p>十分満足できると判断される生徒の姿の具体例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムの反復と速度や強弱の変化に気づいて、それらが物語の進行や舞の様子、登場人物の心情とかかわって表現の相乗効果を生み出していることについて、ワークシートに書いたり、発言したりしている。</li> </ul> <p>例：テンポが速くなり、締太鼓にクレシェンドがかかることで、オロチが勢いよく酒を飲んでいることが伝わってきた。</p> <p>酒を見つけた時にオロチが喜んで踊っている様子が、締太鼓のアクセントの変化によってよく分かった。</p> <p>オロチが登場した時の弱い音で繰り返されるリズムによって、クシナダヒメのオロチに対する恐怖心やミコトの緊迫感が伝わってきた。</p>
<p>おおむね満足できると判断される生徒の姿の具体例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速度や強弱の変化に気づき、場面の雰囲気を感じ取ってワークシートに書いたり、発言したりしている。</li> </ul> <p>例：速度が速くなって、盛り上がっている。</p> <p>だんだん強くなって、ヤマ場になった。</p> <p>オロチが登場する場面は、ゆったり落ち着いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えたリズムを、体を揺らしたり手で打ったりしながら聴いているが、音楽が変化すると、反応が変わる。</li> </ul>

<p>努力を要すると判断される生徒の姿の具体例と支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速度や強弱の変化と物語の進行や舞の様子、登場人物の心情とのかかわりについて分からず、ワークシートに書けなかったり発言できなかったりしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 映像にあわせてリズム打ちを一緒にすることで、速度や強弱の変化に注目できるようにする。</li> <li>→ 物語の流れを示して、物語の進行と登場人物について説明する。</li> <li>→ 音楽が速くなったり強くなったりすることで、どんな気分になるかに気をつけて聴くよう促す。</li> <li>→ どう感じたのか口頭で尋ね、出てきた言葉をワークシートに書くように促す。</li> </ul> </li> </ul>
--------------------------------	--

(4) 授業研究の視点

- 郷土の音楽に親しめるように、郷土の伝統芸能である“佐陀神能”が適切に教材化されていたか。
- 知覚・感受を深めるためにとった手立ては適切であったか。
- 予想した生徒の姿が実態を踏まえており、それに対する教師の支援は適切であったか。